

令和5年3月22日

議員各位

産業文教常任委員会

委員長 河野 龍二

委員長報告書

産業文教常任委員会に付託された議案等の審査結果について、会議規則第41条の規定により報告いたします。

1.審査期間：令和5年3月13日～16日

2.付託された議案等

議案番号	件名	結果
7	令和4年度長与町一般会計補正予算（第9号）	全会一致 可決
11	令和4年度長崎都市計画事業長与町土地地区画整理事業特別会計補正予算（第2号）	全会一致 可決
12	令和4年度長与町水道事業会計補正予算（第2号）	全会一致 可決
13	令和4年度長与町下水道事業会計補正予算（第1号）	全会一致 可決
14	令和5年度長与町一般会計予算	全会一致 可決
18	令和5年度長崎都市計画事業長与町土地地区画整理事業特別会計予算	全会一致 可決
19	令和5年度長与町水道事業会計予算	全会一致 可決
20	令和5年度長与町下水道事業会計予算	全会一致 可決

## 産業文教常任委員長報告

審査日	令和5年3月13日～16日
出席委員	河野 龍二 八木 亮三 西田 健 浦川 圭一 中村 美穂 竹中 悟
説明員	関係所管管理職並びに職員

### 議案第7号 令和4年度長与町一般会計補正予算（第9号）

#### 【提案理由・主な内容】

建設産業部、産業振興課では歳入、歳出共に事業費及び交付額の確定に伴う減額、増額。商工振興費では、長与町事業継続支援金はコロナ禍における事業者支援金第6弾の事業費確定での減額。長与町プレミアム商品券発行事業補助金は、販売されなかった商品券プレミアム分の減額。第2表繰越明許費補正が2件、第4表地方債の補正1件。

土木管理課では、歳入、歳出共に事業実績による費用の確定、負担金分担金の額の確定に伴う減額、増額。また執行予定が無い事業などの減額などを計上。第2表繰越明許費補正では土木費の道路橋りょう費を。第4表地方債補正では4件。

都市計画課では、歳入は交付金並びに国庫補助金の増額と、執行状況の調整などに伴う減額を。歳出は、繰出金8億9,784万7,000円の減額は、国の追加内示の増額、保留地処分金の充当に伴うもの。第2表繰越明許費補正は都市計画費で3件。第3表債務負担行為補正1件。第4表地方債補正では3件。

教育委員会、教育総務課では、歳入では契約額の確定に伴う減額と工事費の確定に伴う充当起債の減額。歳出では指導員の任期に伴う減額。教育振興基金積立金は3億円を積み立てる。第2表繰越明許費補正は2件。第4表地方債補正1件。

生涯学習課では、歳入は第2期発掘調査が出来ずに社会教育費補助金を減額するほか、事業実績に伴う増額、減額。歳出は各施設館長の再任用職員配置により人件費を減額。また、物価高騰により電気使用料等の増額を計上。この他第4表地方債補正が1件。

農業委員会所管では、歳入は、農業委員会交付金や農地集積・集約化対策費補助金などの交付額決定に伴う変更および、タブレット購入に係る交付金の実績に伴う減額など。歳出は、歳入額の確定に伴う歳出額の変更や新システム移行による減額補正。

以上の説明があった。

#### 【主な質疑】

## 建設産業部

### (産業振興課)

質疑：販売されなかったプレミアム商品券の金額などはどれくらいか。

答弁：販売率としては68.4%となる。

質疑：肥料価格高騰対策事業補助金の減額は申請が少なかったのか。

答弁：減額の要因は、国の70%支援に20%上乘せの予定だったが県も15%の措置をしたため、町が10%上乘せに変更したことによるもの。

質疑：申し込み件数はどれくらいか。

答弁：4団体から農業者163名の申し込みがあった。

### (土木管理課)

質疑：橋りょう維持補修工事費の場所はどこになるのか。

答弁：早田橋と隠川内橋の2件。

### (都市計画課)

質疑：債務負担行為は令和5年度当初予算計上でも良かったのではないか。

答弁：財務部局と調整し補正での計上となった。

質疑：土地開発公社所有用地の購入予定地内の、公園用地として活用している場所はどうか。

答弁：買い戻しをしても今のところは現状のままで、今後全庁的に協議をして活用方法は検討していく。

## 教育委員会

### (教育総務課)

質疑：学校教育相談指導員の任期が9月迄とのことだが、その後の対応は。

答弁：GIGAスクールの相談員としても対応していたが、支援センターが稼働しており、また教育相談指導員も増えた分で対応している。

### (生涯学習課)

質疑：多目的研修集会施設管理費の追加工事を見込んでとの説明があったが、減額はなぜか。

答弁：工事が完了していないため契約額に追加工事を加味した上で、残りの額を減額している。

## 農業委員会

質疑：農家台帳・農業地図システム保守が不要になった理由は。

答弁：農業委員会サポートシステムへ移行することで不要となった。

質疑：農業委員会委員報酬、農地利用最適化推進委員報酬が増額となっているが、残された期間に会議などが行われるのか。

答弁：これまでの業務実績で報酬が増えた。

以上のような質疑が行われ全会一致で可決すべきものと決した。

議案第11号 令和4年度長崎都市計画事業長与町土地区画整理事業特別会計  
補正予算（第2号）

【提案理由・主な内容】

歳入歳出予算総額は変わらず、国の補助金の確定及び保留地処分金の充当に伴う財源組み替えの補正。第2表繰越明許費を6億7,800万円計上。令和4年度分事業費の一部と国の追加補正を合わせて繰り越すほか、予算に関する説明書により詳細な説明を受け審査を行った。

【主な質疑】

質疑：保留地処分金が高額で落札されたと聞いているが、今後の影響は。

答弁：これまでは抽選方式で販売していたが、入札による販売を行ったところ高額で落札された。ただ換地の売買事例では坪単価30万円程度なので、今回の落札額のままで売り出すことは今のところ考えられないと思う。

質疑：一括施工の保留地処分金は約13億円と聞いていたが、今回の補正額が約8億円なのはなぜか。

答弁：約8億円を令和4年度事業に充て、残りの約4億円は令和5年度事業に充てる。

質疑：令和4年度の繰り越しの理由は。

答弁：一括施工の岩盤掘削で発生する騒音振動に係る地元調整に日数を要した事が主な原因と県から聞いている。

以上のような質疑が行われ全会一致で可決すべきものと決した。

議案第12号 令和4年度長与町水道事業会計補正予算（第2号）

【提案理由・主な内容】

収益的収入及び支出の支出において、第1款水道事業費用を1,400万円増額し、補正後の費用総額を7億4,778万円としている。電気料金高騰に伴う長与町浄水場運転管理業務委託料の増額によるもの。

【主な質疑】

特記する質疑なし。

全会一致で可決すべものと決した。

議案第13号 令和4年度長与町下水道事業会計補正予算（第1号）

【提案理由・主な内容】

収益的収入及び支出の支出において、第1款水道事業費用を1,250万円増額し、補正後の費用総額を9億4,714万円としている。電気料金高騰に伴う長与町下水道施設維持管理業務委託料の増額によるもの。

【主な質疑】

特記する質疑なし。

全会一致で可決すべものとした。

#### 議案第14号 令和5年度長与町一般会計予算

##### 【提案理由・主な内容】

建設産業部、産業振興課では、第3表地方債で畑地帯総合整備事業を計上。歳入では2款地方譲与税の森林環境譲与税、15款県支出金では農業費負担金の中山間地域等直接支払交付金。農業費補助金では経営所得安定対策等推進事業費補助金など。21款町債では、基盤整備に係る充当起債。歳出では2款総務費の税務総務費で、ふるさと長与応援寄附金関係の経費を、寄付見込額を1億2,500万円と想定し計上。5款労働費の労働諸費では、長与・時津シルバー人材センターへの運営補助を。6款農林水産業費の農業振興費では、岡地区の農業経営効率化、生産性の向上を図るため基盤整備事業負担金を。認定新規就農者への補助金として新規就農者育成総合対策事業補助金を計上。7款商工費の商工振興費では、町内に土地を取得し令和3年5月に開業した事業者に長与町工場等設置奨励金を計上。

土木管理課では、第3表地方債で急傾斜地管理事業など4件。歳入では、12款分担金及び負担金で、嬉里郷の急傾斜地崩壊対策事業地元分担金。13款使用料及び手数料では各施設使用料を。14款国庫支出金は、長与中央線の舗装補修工事、公営住宅改修工事、また15款県支出金では、嬉里郷の急傾斜地崩壊対策事業等に充当する補助金をそれぞれ計上。21款町債は、急傾斜地管理事業と道路橋りょう事業の起債を計上。歳出では、8款土木費で、急傾斜地維持補修工事、長与中央線舗装補修工事、橋梁長寿命化調査設計、天満宮公園遊具更新工事などを計上。

都市計画課では、第2表債務負担行為で都市計画道路西高田線街路整備事業で用地購入などの費用を計上。第3表地方債は3件。歳入では、14款国庫支出金で活力創出基盤整備総合交付金を、21款町債では、土地区画整理事業、街路事業充当起債を計上。歳出では、8款土木費で土地区画整理事業への繰出金、街路事業では都市計画道路西高田線の事業費を計上。

教育委員会では、教育総務課、学校教育課から一括して説明を受けた。歳入の主なものは、14款国庫支出金では、GIGAスクール運営支援センター整備に伴う補助金を、15款県支出金では不登校支援推進事業補助金、地域部活動推進事業補助金を、20款諸収入では、学校給食費の公会計に伴い、食材費徴収分を計上。歳出では、10款教育費で、九州地区研究大会費用を計上。小学校管理費では、トイレの洋式化工事などを計上。中学校管理費では、長与中学校と第二中学校の特別教室LED化整備、第二中学校と高田中学校トイレの洋式化工事などを計上。中学校教育振興費の、地域運動部活動推進委員会委員謝礼は4名分、地域文化部活動推進検討委員会委員謝礼は5名分を計上。

生涯学習課では、第 3 表地方債で多目的研修集会施設整備事業債の 1 件。歳入では各施設の使用料等。14 款国庫支出金、15 款県支出金では長与三彩関連遺構の発掘調査に対する補助金。20 款諸収入では、郷土芸能大会に対する助成金を計上。歳出では、5 款労働費で、働く婦人の家の軽運動室などの空調機改修工事を、6 款農林水産業費では多目的研修集会施設の屋根防水工事を計上。10 款教育費の社会教育総務費では、つどいの家の空調機入れ替え工事費を、図書館費の新図書館整備計画検討委員会委員報酬は、委員 15 名、4 回の会議を計上。その他、第 9 回郷土芸能大会の費用などを計上。

農業委員会では、歳入は 15 款県支出金の農林水産業費補助金として、農地利用最適化交付金、農地集積・集約化対策費補助金などを計上。農業委員会や委員の活動費に充当する。歳出では、農業委員と農地利用最適化推進委員の農地の利用最適化に資する活動費用と補助金を活用したタブレットのインターネット接続料などを計上。

以上の説明があった。

#### 【主な質疑】

建設産業部

(産業振興課)

質疑：ふるさと長与応援寄附金の見込額の根拠は。

答弁：令和 3 年度が約 1 億 2,000 万円。4 年度は 2 月末で約 1 億 4,000 万円で実績を踏まえての額。

質疑：工場等設置奨励金は土地購入後 1 年以内の着工が条件と思うがクリアしているのか。

答弁：土地の取得から 1 年以内の着工を着工届で確認している。

質疑：建物は令和 3 年に完成している。何を持って着工とするのか。

答弁：家屋建物ではなく土地の囲いの工事で、対象となる。

質疑：情報発信事業補助金の内容は。

答弁：これまでの商工会会報誌からホームページに誘導する機能とスマートフォンを活用しスタンプラリーに参加できる事業を一元化し、新たに双方向コミュニケーション機能やアンケート機能を搭載するもの。

(土木管理課)

質疑：キャンプ使用料の算出根拠は。

答弁：年間 800 組を想定して算出した。

質疑：天満宮公園の遊具更新の内容は。

答弁：遊具点検で 3 基が使用禁止になっていたのと、残りの 3 基含めて 6 基すべてを更新する。

質疑：危険と考えられる空き家はどれくらいあるのか。

答弁：令和 3 年度の調査時点で 27 件確認している。

質疑：嬉里郷の急傾斜地対策工事の完成年度はいつか。

答弁：3か年で工事し、令和7年に完成。

（都市計画課）

質疑：債務負担行為の契約はいつ頃になるのか。

答弁：令和5年度の6月移行になる予定。

質疑：街路事業費の公有財産購入費用地購入費の場所と補償費の内容は。

答弁：都市計画道路西高田線の事業所用地1件の費用。補償費の内容は、工場3棟分、面積623平米。工場機械などの移転補償もある。

教育委員会

（教育総務課・学校教育課）

質疑：不登校支援推進事業補助金はどのように使われるのか。

答弁：現在、適応指導教室に通う児童生徒が対象で、校外での体験学習に活用する。

質疑：適応指導教室はどこにあるのか。

答弁：勤労青少年ホームに設置している。

質疑：部活動の地域移行による部費の3,000円に対する不満の声はないのか。

答弁：令和4年度に満足度調査を行った際に妥当と答えた方が65%。安いが20%の調査結果がある。今後も実態を把握していきたい。

質疑：学校給食費の公会計に伴い、納入業者との契約が必要ならば、債務負担行為が必要でなかったか。

答弁：4月からの運営に混乱しないように対応していく。

（生涯学習課）

質疑：広告掲載料の内容及び掲載料はいくらか。

答弁：雑誌スポンサーの掲載料。単価4,200円で20誌分を計上している。

質疑：電子図書購入予定書籍はどれくらいか。

答弁：280冊分を予定している。

質疑：各種大会参加補助金の金額は十分なのか。

答弁：令和元年度で約376万円使われており、ほぼ予算内で収まっている。

農業委員会

質疑：農業委員会サポートシステム連携修正委託料の内容は。

答弁：国のシステムで農地の移動があった場合に対応するもので、一度整理すれば5年間は問題ないと考えている。

質疑：目標地図作成委託料はどのような内容か。

答弁：農地をどれだけ守っていくかの目標となる地図を作る作業で、令和4年度に1地区作成し、残り11地区を今後作成していく内容。

以上のような質疑が行われ全会一致で可決すべきものと決した。

議案第18号 令和5年度長崎都市計画事業長与町土地区画整理事業特別会計  
予算

【提案理由・主な内容】

歳入・歳出それぞれ10億9,081万7,000円で、歳入では国庫補助金4,226万4,000円。県補助金937万7,000円。一般会計繰入金5億5,409万4,000円。保留地処分金7,140万1,000円。歳出では、長崎県への委託料10億7,650万円で工事の進捗を図る。工事の内訳は工事費で7億7,000万円。測量試験費で9,900万円。補償費3,900万円。その他1億6,850万円、さらに予算に関する説明書で詳細な説明を受け審査を行った。

【主な質疑】

質疑：附帯工事の150万円の内容は。

答弁：区画整理事業で対応出来ない除草工事などの費用。

質疑：令和4年度の繰越明許費と合わせると令和5年度は約17億円の事業費となる。令和5年度完了の見込みはあるのか。

答弁：完了予定で進めるが、繰り越しもあるので少しでも消化していきたいと思っている。

質疑：一般の保留地処分金が7,000万円ほど計上されているが、これ以外にもあるのでは。

答弁：面積で7,000㎡から8,000㎡ほどある。

質疑：国・県の補助金は令和5年度で最後になるのか。

答弁：今の事業計画の進捗でいけば最後となる。

質疑：一般の保留地処分金の坪単価予定はどれくらいか。

答弁：25万円程度になると考える。

以上のような質疑が行われ全会一致で可決すべきものと決した。

議案第19号 令和5年度長与町水道事業会計予算

【提案理由・主な内容】

令和5年度末の給水戸数を1万6,024戸。年間給水量は364万5,263立方メートル、1日平均給水量は、9,960立方メートルと見込んでいる。主な建設改良事業費として7,400万円を計上。その他、令和5年度事業内容並びに予算に関する説明書において詳細の説明を受け審査を行った。

【主な質疑】

質疑：浄水場共同整備は適切な時期に明確な方向性を示すと施政方針にあるが、適切な時期とはいつか。

答弁：5年度の早い段階になると思う。

質疑：給水区域外の上水が枯渇した場合などの対応はどう考えているか。

答弁：現状は現在の設備をいかに維持していくか技術的な助言をするなどの対



応しかできない。

質疑：令和5年度の予定貸借対照表では、当年度末処分利益剰余金が約4,700万円になっている。令和4年度の予定額より大きく減ると予想しているのか。

答弁：収益が減る予想となっている。また電気料金の高騰など費用が必要になり予定の額になるのではないかと考えている。

質疑：水道料金改定の考えがあるのか。

答弁：水道事業は全国的に厳しい状況になっていくと言われており、長与町も近い将来に改定が必要な時期が来ると考えている。

以上のような質疑が行われ全会一致で可決すべきものと決した。

## 議案第20号 令和5年度長与町下水道事業会計予算

### 【提案理由・主な内容】

令和5年度末排水戸数を1万6,050戸。年間総排水量を367万2,808立方メートル。1日平均排水量を1万35立方メートルと見込み、主な建設改良事業費として4億1,303万1,000円、このうち国庫補助対象事業として3億2,494万円を予定。その他令和5年度事業内容並びに予算に関する説明書において詳細の説明を受け審査を行った。

### 【主な質疑】

質疑：時間外勤務手当が増えている要因はなにか。

答弁：令和4年度に職員が一人退職し、令和4年度の時間外勤務手当が増えた実績に基づいて増額した。

質疑：デザインマンホールの費用は一般会計でも負担すべきと考えるがどうか。

答弁：企画時は水道局のPRを目的に始めたが、今後一般会計で活用できる部分を含め、一定の線引きと負担を考えていきたい。

質疑：処理場費の維持管理委託契約期間を短くして、委託費の削減の考えはないか。

答弁：5年の契約期間となっているが、短い期間より費用自体が下がることも考えられる。調査研究しながら考えたい。

以上のような質疑が行われ全会一致で可決すべきものと決した。